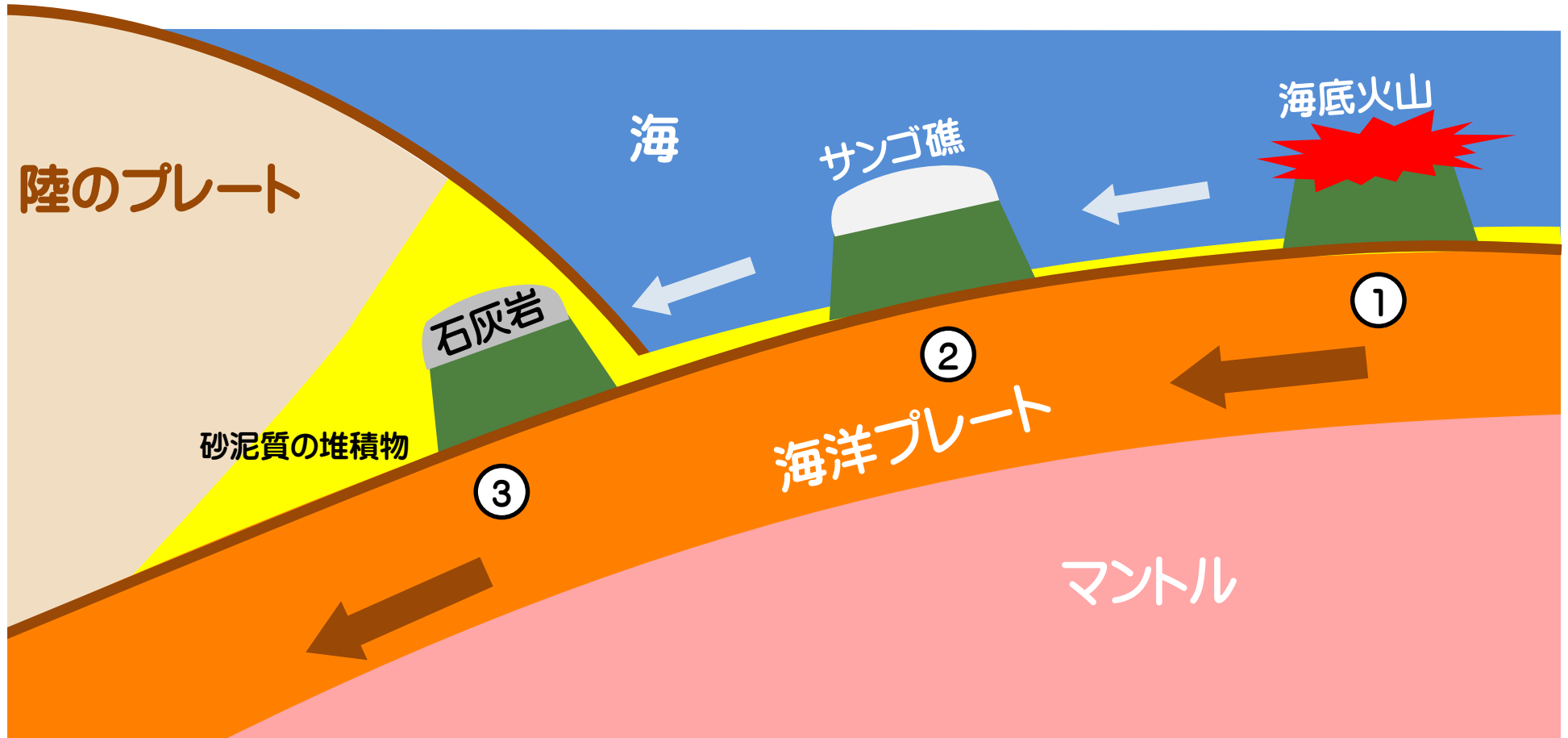
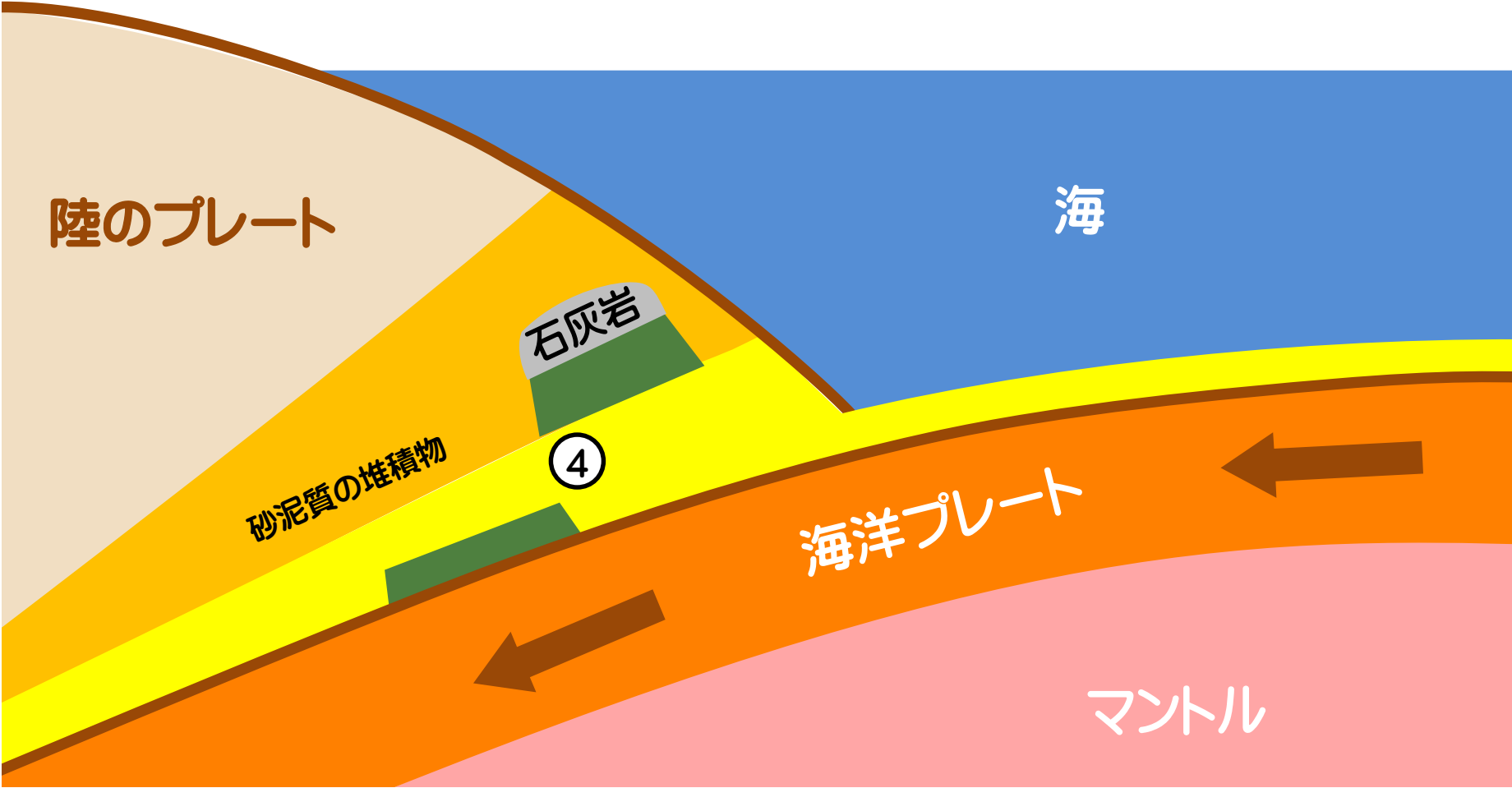


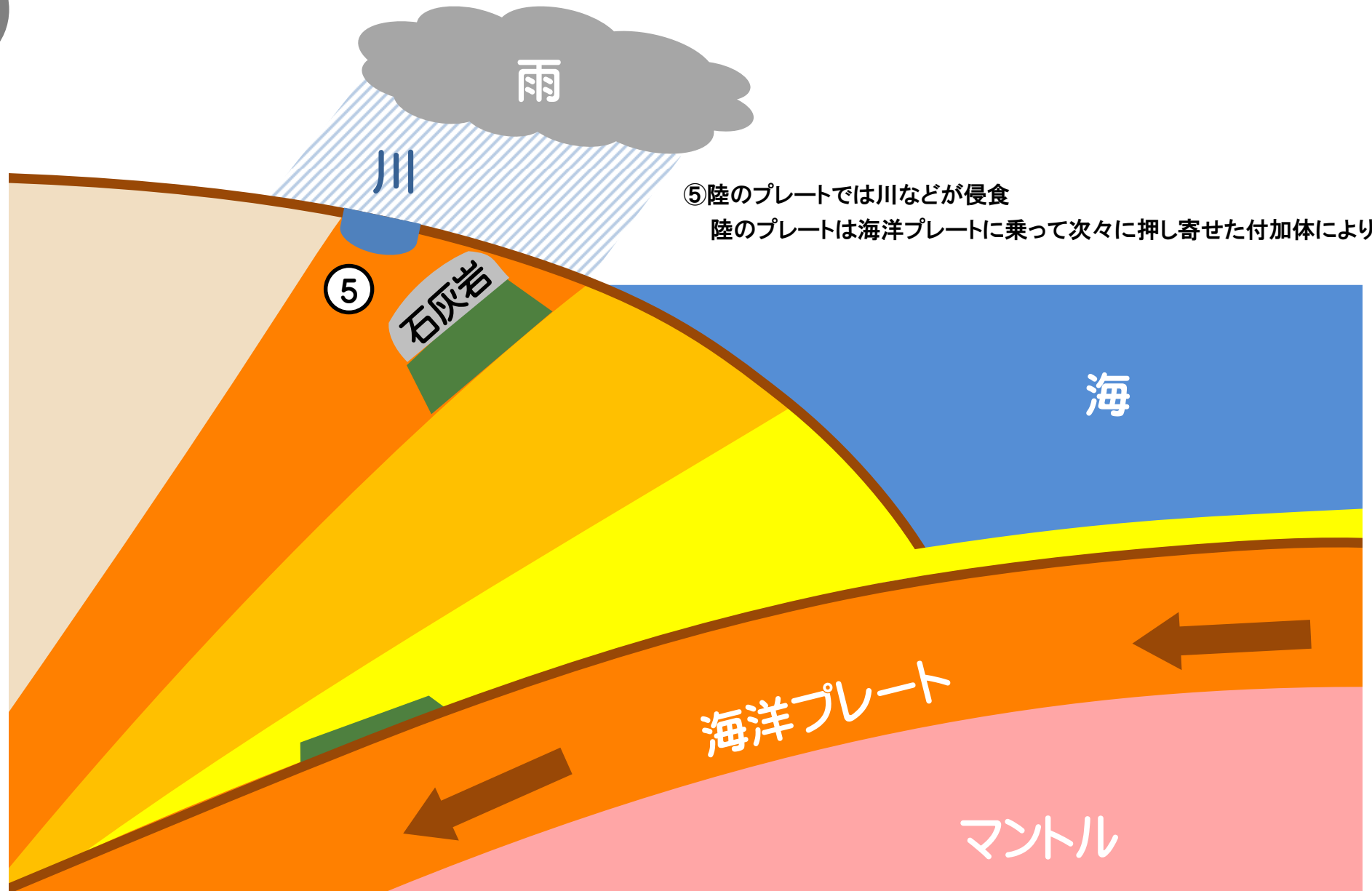
## 秩父の石灰岩帯の成り立ち (武甲山・橋立鍾乳洞等)

- ① 南の海で海底火山が噴火 → 海洋プレートに乗って移動
- ② 火山活動がおさまり、上部にサンゴ礁を形成 → 海洋プレートに乗って移動
- ③ サンゴ礁は石灰岩となり、陸のプレートと接触



④ 陸のプレートの下に沈み込む際に、海洋プレートの堆積物がはぎ取られ陸側に付加する(付加体)





⑤陸のプレートでは川などが侵食  
陸のプレートは海洋プレートに乗って次々に押し寄せた付加体により隆起

⑥石灰岩・玄武岩が地上へ  
(陸のプレートは次々に押し寄せた付加体により隆起)

